

(アシナガバチの駆除方法)

アシナガバチは、スズメバチに比べ攻撃性が低く、他の害虫を捕食することから益虫とも考えられます。

しかし、巣の場所によっては日常生活に支障をきたすこととなり、春から秋にかけて次第に巣が大きくなり、百匹以上の大集団となる場合もありますので、駆除をされる場合は、早期の駆除をお勧めします。なお、冬は巣が空になり、翌年に再び同じ巣を使用することはありません。



(アシナガバチの巣)

アシナガバチは、夜に殺虫剤を吹き付けることができれば駆除できます。

- 1) ハチは、昼間は元気に活動しますが、夜は巣に戻って活動を低下させているので、アシナガバチは少々の事では飛んできません。懐中電灯の光くらいでは大丈夫です。
- 2) アシナガバチは巣の外側にとまりますので、巣をめがけて殺虫剤を吹き付ければ、容易にハチに殺虫剤がかかります。ハチ専用の殺虫剤を使用すれば、少し離れた場所から一気に大量に吹き付けることができます。
- 3) 殺虫剤の散布後も、殺虫剤のかかり方が不十分で、まだ生きているハチがいるかもしれません。夜間は殺虫剤の散布のみにとどめ、翌日、明るくなってから巣の状況を確認し、まだ生きているハチがいれば、夜にもう一度殺虫剤を吹き付けてください。生きているハチがいなければ、巣を撤去してください。
- 4) 死んでいるハチでも毒針がありますので注意してください。巣の中には卵や幼虫が残っていますので、巣はビニール袋に入れて処分してください。
 -) 殺虫剤の使用にあたっては、使用上の注意事項を必ずご確認ください。
 -) 駆除作業が困難な場所の場合は、害虫駆除業者に依頼してください。

注意：スズメバチの場合は、攻撃性が高く、また、ハチが巣の中に入ってしまうので、ハチに殺虫剤がかかりません。大変危険ですので、ご自身での駆除は控えてください。